

第 484 回 N S T新潟総合テレビ番組審議会

議事概要

1. 開催日時 2026年2月12日(木) 11:00
2. 開催場所 N S T新潟総合テレビ本社
3. 委員出席
 - 委員総数 8名
 - 出席委員数 8名（レポート出席を含む）
 - 委員長 伊藤 満敏
 - 副委員長 本田 賢一
 - 委員 山田 富美子
 - 委員 廣田 徹
 - 委員 杉浦 一成
 - 委員 槇 大介（レポート）
 - 委員 高杉 龍司
 - 委員 岡井 美奈（レポート）

（敬称略）

- 放送事業者側
 - 酒井 昌彦（代表取締役社長）
 - 高島 裕介（取締役）
 - 中馬 淳一（取締役）

 - 鈴木 秀喜（番組説明・報道制作部）
 - 武者 正人（番組審議会事務局）

4. 議 題

(1) 番組審議

「FANTASTICSの新潟100米るSP・お米の国の
L o v e r s A g a i n」

2025 年 11 月 21 日(金) 19:00～20:00 放送 (60 分番組)

(2) その他

視聴者対応、訂正・取消放送の報告

配布資料

- ・議題・レポート取りまとめ
- ・BPO報告 (NO. 284・285)

5. 議事概要

(1) 番組審議

番組審議では番組制作者による番組概要・企画意図等の説明文と動画を送付し、委員より事前に提出されたレポートを取り纏め、審議会ではポイントとなる意見をいただく形式をとった。

・2023 年 4 月にスタートした新潟のお米 100 kg完食記念特番として、新潟のお米をはじめ地元のグルメや観光スポットを差し込みながら良い構成だったと思う。

・「新潟 100 米る」を初めて見る人にもある程度楽しめるような工夫がほしかった

・新潟の農業振興の観点から見ると、人気のダンス・ボーカルユニット FANTASTICS が新潟米をここまでPR してくれるのであれば、テレビ放送やTverだけでなく、YouTube などの形で常時、全国・世界に発信できたら望ましいと思った。

・新米3種類：こしひかり、新之助、にじのきらめき、それぞれの食味食感のコメントが素晴らしく、かがやき農園からの番組露出での嬉しい反響や寄せられる言葉から得られたやりがい語る場面も良かった。

・次の100マイル宣言「お米作ります」まで飛び出し、未来に明るさを感じさせる良い番組だった。農家の希望にもなるだろうし、新潟を元気づけようとするNSTの番組作りとしてはぴったりだったと思う。

・キャスティングも、レギュラー出演の瀬口さんを始め、若者受けしそうなゲストを迎え、聖地巡礼を呼び込む観光誘致効果の狙いも伺える内容で良かった。

・素材の良さを絵的にもう少し映えるようなメニューを出演者と一緒に考案するような工夫があれば、観光誘致の点では、より効果が上がるのでは思った。

・料理のアップショットや店舗演出の映像も丁寧で、視聴者が「行ってみたい」と感じる訴求力が高かったと思う。瀬口さん・八木さん・武知さんの素直なりアクションは臨場感があり、グルメ紹介としての完成度の高さを感じた。

・かがやき農園が放送の影響もあって「写真」の写真を撮りに来てくれる「聖地巡礼」やネット販売も増加したとのコメントが番組内であったが、こうしたコメントは番組を制作する側としては非常に大切な声だと思う。

・車内のクイズの内容も良かったと思うが、せっかくなのでクイズに出た食事でも美味しそうなグルメだったので場所やメニュー名もテロップで出しても良かったと思う。

・「100 米る」のコーナーはほぼ初見だったが、番組のはじめに FANTASTICS の紹介 VTR をしっかり挟んでくれたこともあり、これまでの総集編的な要素のある番組に対してすんなりと視聴に入ることができた。

・「〇〇くらいしかない」「何もない」という大人たちの言葉を聞き続けた子供たちがやがて静かに地元を離れて行ったり、大人になって同じ言葉を口にしたりののだとすれば、まずは大人に対して地域の魅力を理解させることに意味があると思う。今回のような制作物を通じて新潟県の魅力を発信し続けて欲しいと思う。

・年配の者にとっては前半のくだりはわかりづらかった。

ゴールデンタイムで 100 米る企画を初めて見る方、FANTASTICS をあまり知らない方に対してはキャスティングが若すぎたと感じ、キャスティングの難しさ、全世代ターゲットとすることは難しいと感じた。

（２）その他

視聴者対応

資料に基づき、2026 年 1 月分の視聴者対応について、事務局より報告を行った。

訂正・取消放送の報告

前回開催日～今回の開催前日までに総務省に届け出た訂正放送・取消放送はなかった。